



全国有数の町営塾が久米島高校生と共に成長していく様子をお伝えする記事です。



今月のテーマ **多様性と多角的な視点をもつ**

校舎に 鳩多き日や 卒業す

中村 草田男

3月は卒業シーズンです。卒業生の方々、おめでとうございます。

さて、全国各地で学生たちが卒業していき、4月からの新しい生活に向けて多忙となる方も多いと思います。そうした先輩方の後姿を追って、現2年生はいよいよ受験や就職に向けてスタートを切りました。志望校の選定だけでなく、自分の将来を思い描きながら進路を考えています。

自分を見つめなおす時間をもつことが大切な時期です。

なお、久米島学習センターの新3年生の入塾申し込みは、4月末までとなっております。また、新1・2年生の体験入塾・入塾申し込みは年中受け付けております。



Digital School Networkでパラアスリートを知る

2月7日、2020 東京パラアスリート「パラ陸上実業団選手兼監督」の松永仁志さんによる座談会を、佐賀、宮崎、島根、広島、東京の高校・公営塾と連携して行いました。長くパラアスリート界を牽引し、パラリンピック 4 大会連続出場の松永さんのお話を、興味深そうかがうことができました。



3月3日の過ごし方



この記事が読まれている頃には、過ぎし日となっておりますが「桃の節句」についてひとコラム。

沖縄では、旧暦3月3日は「浜下り」の日。春の大潮になる日で、女性のみで浜辺へ行き、ごちそうを持ち寄ってゆったり過ごします。本来、男子に姿を見られてはいけなかったようですが、近年では、家族で潮干狩りなども多いみたいですね。

3月3日は「上巳の節句」と言われ、中国では水辺で身を清める習慣がありました。平安時代に日本本土に伝わってからは、人形に災厄を移したり、お祓いする習慣となりました。それが現代の雛人形になり、子供の健やかな成長を願う形となりました。

北方領土問題交流



12月20日、久米島学習センターは北海道、東京、千葉、広島、宮崎の各地域の7つの高校とICT(情報通信技術)を使って「遠隔授業」を行いました。

映画「ジョバンニの島」主役のモデルとなった国後島元島民の得能宏さんや2世・3世のお話を伺いながら、久米高の1年生は積極的に質問をしていました。宇久里翔大君は「得能宏さんにとって、国後島は故郷。家から追い出されて殺されて、(の体験をもし自分がして)島に戻れないというのはつらい。自分みたいな若い人間同士で沢山話し合っ、北方領土問題を解決していきたいと思った」と語りました。滅多に体験できない交流を持つことができました。

お問い合わせ

勉強に関するご質問など、お気軽にお問い合わせください! スタッフが丁寧に答えします!

☎ 070-3802-2739 E-Mail : kumejuku@gmail.com

フェイスブックも更新中 「久米島学習センター」で検索!

フェイスブック
QRコード

